

奈良県・奈良市圏域

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
1. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを知る支援者を養成する。また、各機関の役割や会議の取り組み課題を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月3日：広域アドバイザーを交えた戦略会議を開催。 ・ 12月17日：触法障害者グループで研修会を開催。 ・ 1月27日：奈良県の行政職・医療機関職員・福祉サービス事業所職員（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム）
2. 指定相談支援事業所の拡大のため、研修会を開催する。また、地域移行支援のマッチングを行う場を設ける。	地域移行グループの事例検討ワーキングを立ち上げて、地域移行支援の事例検討の場を設置したり、地域移行に関する研修会を実施した。
3. 地域移行支援の申請者を出す。	8件の新規申請が上がる。（12月末時点）

2. 支援事業の成果

- ・ 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について、3年間の報告の場を設けることができた。
- ・ 自立支援協議会内に、事例検討ワーキングを立ち上げ、地域移行支援を指定相談支援事業所と共有できる場を設ける。また、事例検討ワーキングで指定相談支援事業所向けに地域移行支援に関する研修会を実施した。
- ・ 12月末時点で、8人の地域移行支援の申請者があがる。
- ・ 精神保健福祉連絡会で退院支援を検討し、退院1カ月前の入院中から、地域の支援者も入れてケア会議の開催をして、連携をとることを意識することを共有できた。

3. 次年度に向けた課題等

- ・ 事例検討ワーキングが属している地域移行グループの上部会議である地域生活支援部会が、休会になり地域自立支援協議会内での位置づけが曖昧になる。今後も事例検討を核にした会議体を地域自立支援協議会内に設置できるように働きかけていく。
- ・ 医療との連携で、医療中断や病状悪化時の連携体制が必要である。対応を、医療機関や訪問看護等と検討する必要がある。

4. 課題の解決に向けた 令和2年度の取組方針

- ・ 引き続き奈良市地域自立支援協議会内で検討し、協議会内での位置づけを明確にして、事例検討をとおして課題抽出や解決に向けた取り組みを行う。
- ・ 精神保健福祉連絡会で、医療中断や病状悪化時の連携体制について、医療機関や訪問看護等と検討していく。